

「連合 2024 平和行動 in 根室」派遣団報告

～北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！日ロ平和条約の締結を！～
～平和ノサップ集會に、全国から728名が参加～



主催者を代表して挨拶する清水秀行連合事務局長

主催者を代表して連合清水秀行事務局長は、「平和を求め、平和を守る。今も昔も、そしてこれから先も、平和は、連合が労働運動に取り組む上で大きな柱となっている。また、北方四島の一括返還と日ロ平和条約の締結を通じて、北方領土問題を早期に解決し、真の意味での戦後を迎える必要がある。元島民の方々は、ふるさとに戻れず79年が経過した。元島民の平均年齢は88歳を超え、残された時間は決定長くない」と平和の重要性を集會参加者に呼びかけた。

続いて地元地方連合会を代表し須間等・連合北海道会長より「根室に近い自衛隊矢白別演習場では、今年2度目となる日米共同訓練が9月12日より23日まで行われる予定である。このような訓練はロシアへの軍事的緊張を高めるものであり、平和は武力ではなく対話による平和外交でしか創り出すことは出来ない。本日の集會を契機に元島民のみなさんの悲願である北方領土を一日も早く取り戻すため、私たちは北方領土返還の取り組みを仲間の皆さんに伝え、そして次の世代にしっかりとつなげていきましょう」と訴えた。

次に、来賓挨拶として、天沼宇雄・北海道公営企業管理者より北海道知事の挨拶が代読され、続いて石垣雅敏・根室市長、山本茂樹・北方領土問題対策協会理事長、最後に、元島民の訴えとして鈴木咲子氏（択捉島出身）から



連合平和ノサップ集會に参加する派遣団

「故郷に戻ることが叶わなかった同胞たちの墓前に良い知らせを報告するまで返還要求運動の灯を消すことなく取り組みを進めていく」と語った。特別報告として神田真哉・連合島根中部地域協議会大田地区会議議長より、連合島根、連合中国ブロック連絡会が取り組んでいる「竹島領土権確立に向けた取り組み」について特別報告を受けた。続いて、2025 平和行動 in 沖縄に向けて連合平和行動旗・ピースフラッグが引き継がれ、阿部秀子・全道庁根室総支部組合員による集會アピールが満場一致の拍手で採択されたあと、浅野康敏・連合北海道釧根地域協議会会長の発声による「がんばろう三唱」で閉会となった。菅井団長統率のもと、参加者が協力し一定の成果を上げられたことに感謝申し上げる。

9月8日「連合 2024 平和ノサップ集會」は、納沙布岬・望郷の岬公園で、「北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！日ロ平和条約の締結を！」をテーマに開催され、全国の構成組織・地方連合会から計728名が参加し、連合福島からは、派遣団として菅井謙一福島地区連合議長を団長に7名が参加した。

前日9月7日には、北方領土問題の経緯や現状、課題と展望について学び、元島民が故郷・北方四島に寄せる想いを聞く「北方四島学習会」が開催され、連合福島はAコースに参加し、山田吉彦氏（東海大学海洋学部海洋理工学科教授）「海から見た北方領土問題」の講演と、元島民の方による「ふるさと北方四島への想い」を拝聴した。



北方四島学習会会場の様子